



令和4年度  
**施政要旨**

はじめに

新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しながら世界的に猛威を振るっており、山形県でも5市4町を重点措置区域として対応強化の協力を要請しましたが沈静化には至らず、家庭や学校、保育施設などでの感染拡大が懸念されています。令和4年度も、感染症予防対策を継続しながら、関係機関と連携を密にし、3回目となるワクチン接種のスムーズな進行に努めてまいります。

昨年開催された東京2020パラリンピック大会では豊田地区出身の齋藤元希さんが出場し、競泳4種目で日本新記録を樹立、うち2種目で入賞する力泳を見せてくれました。コロナ禍で重苦しい雰囲気の中、私たちに勇気と感動を届けてくれた元希さんにあらためて感謝を申し上げます。町では、今後も継続的に選手が排出されるように町民のスポーツ振興と競技力向上に取り組み、活動の支援に努めてまいります。

今後とも町民目線でのまちづくりを政治信条として町民の皆さんと一緒に町政を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

各分野の施策概要

地方創生の取り組み

○地域おこし協力隊制度を活用して町の交流拠点であるコエノクラの運営、町のPR活動、また、スポーツ推進や観光振興などさらなる町の活性化を推進します。

○移住相談会を開催し町の魅力をアピールするとともに、定住促進事業補助金や移住支援金を交付し、移住・定住の促進を図ります。

○町の若手農家に協力いただき、スイカや水稲などの農作業を体験できるツアーを開催し、将来の移住・定住につなげてまいります。

納税対策事業

○口座振替の推進など納税環境整備を進め、未納対策のため納税相談員を引き続き配置します。

○小中学生に対する税金教室の実施により納税意識の向上を図ります。

保健・福祉関係事業

○現在3回目の新型コロナウイルスの接種が行われております。今後も、関係機関と緊密に連携しながら、スムーズなワクチン接種に努めてまいります。

○様々な福祉施策の根幹となる「大石田町地域福祉計画」に掲げる基本理念「健康で安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を目指し、高齢者、障がい者、児童の福祉施策を推進します。

○出産祝金、インフルエンザ予防接種費用の助成、18歳までの医療費無料化を実施します。また、令和3年度にスタートした入学準備金交付事業を、令和4年度からは5階層以上の保護者に対して保育料の半額を助成し、さらに自宅で保育する方には住宅保育支援助成事業により助成金を交付するなど、さらなる子育て世代の負担軽減を図ります。

○健康診査、各種健診の受診率を高め、健康寿命の延伸に重点を置いた取り組みを推進します。

○国民健康保険の医療費抑制対策として、疾病予防の強化、ジェネリック医薬品の活用や在宅診療の啓発、かかりつけ医の定着、疾病の早期発見に向け取り組みます。

生活環境保全事業

○町衛生組織連合会と連携して資源回収を実施し、再資源化を推進します。

○ごみ収集日や分別の周知を徹底し、マナー向上に努めます。

○クリーン・アップ大石田を通して、身近な環境の美化とともに公衆衛生規範を醸成し、持続可能な循環型社会の形成に努めます。

農林業振興事業

○農地の集積による規模拡大、担い手育成のため経営支援に努めます。

○収入保険制度の加入促進を推進します。

○特別栽培米を奨励し、農業生産工程管理（GAP）への取り組みを支援します。

○固有品種「来迎寺在来」原種の保存・継承に努め、質と収量確保のため収穫体制の拡充を図ります。

○森林の多面的機能発揮のため、森林整備計画に基づき、資源の保全と利用に努めます。

商工業振興事業

○町内における消費喚起を図るため、引き続きプレミアム商品券発行事業を支援します。

○商工会・金融機関と連携して求人情報や各種融資制度の周知と活用を促し、既存企業の体質強化を促進します。

観光物産振興事業

○新型コロナウイルスの収束後を見据えて、地域資源を活かした観光サービスの充実を図り、国道

347号沿線の市町、友好交流協定を結ぶ涌谷町との観光ルートを活用や山形連携中枢都市圏ビジョンとの連携など、交流人口拡大と物産振興に努めます。

○地域おこし協力隊を活用し海外からの旅行者に対するおもてなしを充実してまいります。

○「そばの里」振興のため、新そばまつりなどのイベント開催を支援し、加えて温泉利用の促進や特産品の消費拡大など観光振興を図ります。

安全安心のまちづくり事業

○消防団員の報酬を改正するなど処遇改善を図りながら団員の確保に努め消防力の維持と向上に努めます。

○交通事故を防止するため、関係機関と緊密に連携し、交通安全意識の普及啓発に努めます。

○免許自主返納高齢者への支援を継続します。

建設関係事業

○東北中央自動車道の早期全線開通に向けて、国に対し要望します。また、国道347号を災害時の代替路、物流拠点の補完路として整備強化されるよう山形・宮城両県に要望します。

○安全で安心な道路空間確保のため、町道を計画的に整備します。

○行政と住民の総力を結集して道路除雪にあたります。未整備

教育文化の振興

○子ども第一を念頭に統合小学校の基本設計に着手してまいります。

○地域と学校のネットワーク化を進め、生きる力を培う質の高い学校教育に引き続き取り組みます。

○外国語活動と英語教育の充実を努め、英語力と国際理解力の向上を図ります。

○虹のプラザを有効活用し、学習機会や情報提供、自主企画により町民の生きがいづくりに取り組みます。

○情報提供・レファレンス機能を強化し、魅力的な図書館運営に努めます。

○大石田スポーツクラブが地域スポーツの担い手、地域コミュニティの核として運営されるよう支援に努めます。